

「茨城国体」について



山崎 幸子 議員

質問 平成31年の国体が茨城県で行われるが、美浦村としては国体の競技に対し、開催候補地として手を挙げたことはあったのか。

答弁（教育次長） 馬術競技開催を中心に検討を行い、美浦トレーニング・センターと協議を行った結果、十分な広さが確保できない、厩舎・宿舎等の確保が困難な状況にあるということから、美浦トレーニング・センターを会場とすることは難しいと判断した。その他の競技についても宿舎等の確保が難しいことから、市町村誘致希望調査では「希望なし」と回答をした。

質問 平成15年の静岡国体では、御殿場市が馬術競技の開催地となり、競技場は国体終了後も、馬術の公認競技大会の会場として貸し出しをし、昨年の御殿場市に対する経済効果は10億円あったと言われている。美浦村ではそこまでの経済効果はないにしても、集客があれば何かしらの経済効果はあると思う。美浦トレーニング・センター内に限定せず、美浦村で独自に馬術競技の開催地として誘致する考えはないか。



答弁（教育次長） 馬術競技会場は、大きな面積が必要となり、約7ヘクタール〜10ヘクタールが必要といわれ、市街化調整区域で国体規模の馬術競技場として建築を行うには、都市計画法上の開発許可が必要となり、大変難しい。



答弁（村長） 国体競技場の敷地については、自治体が用意をする。その上に設置する建物については、県のほうが全部持つということがあるが、現在美浦村の中で7ヘクタール〜10ヘクタールを確保するというのは、なかなか難しい。

質問 国体の馬術競技場設営は、都市計画法上の開発許可や用地の部分でかなりハードルが高そうだが、いま一度検討し、どうしても難しいということであるならば、美浦村といえば競走馬の里であり、馬に関するもので集客できるようなものを考えていただきたい。

